

科目名	アナウンスⅡ							年度	2025
英語科目名	AnnouncementⅡ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	吉田一之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アナウンサー		
【科目の目的】 ニュース原稿、テレビ番組MC、イベントMC、番宣原稿など、様々なジャンルのアナウンス原稿を実践する。									
【科目の概要】 フリートークやインタビュー、原稿読みなど、いかにわかりやすく的確に内容を伝えていくかを学ぶ。									
【到達目標】 アナウンス原稿を理解し、自ら注意点をチェックし、進行状況を意識しながら実践できる。									
【授業の注意点】 放送現場の読みの技術は、様々な声の仕事に応用が可能な発音発声の基礎となるものである。授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4		レベル3		レベル2		レベル1	
到達目標 【アナウンス】	全体の前稿からポイントを押さえ強調した読み方ができる□			伝えるべきポイントを理解している				どこが重要なポイントかわからない	
到達目標 【原稿作成】	伝わりやすい順番で、印象に残る言葉を使用し原稿を作成できる。			伝わりやすい順番で原稿を作成する事ができる。				核になる話からずれていたり、順番がわかりづらい	
到達目標 【朗読】	間・強調・スピード・音程を巧みに使い、明瞭な滑舌でとても聞き取りやすく、声量も良い	間・強調・スピード・音程のどれか一つでも巧みに使え、明瞭な滑舌と丁度良い声量で読む事ができる。		明瞭な滑舌と丁度良い声量で読む事ができる。		滑舌または声量のどちらかが足りない		滑舌も悪く、声量も足りない。	
到達目標 【番組作成】	伝えたい情報が100%伝わっている。	原稿の構成がとても良く、わかりやすい資料が使用され、伝え方も良い		原稿がしっかりと作れており、聞き取りやすい喋り方で伝えられている。		原稿もしくは喋り方のどちらかが足りない。		原稿も喋り方も悪く伝わってこない。	
【教科書】 使用する台本はその都度配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アナウンスⅡ				年度	2025	
英語表記		AnnouncementⅡ				学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	電話のメッセージを伝える	アナウンス原稿に読み慣れる	1	発声・滑舌	アナウンスの発声を身に付ける	2		
			2	アナウンス	ポイントを押さえて伝える			
2	会議で骨子を伝える		1	発声・滑舌	アナウンスの発声を身に付ける			
			2	アナウンス	ポイントを押さえて伝える			
3	予定表を使って説明する		1	発声・滑舌	アナウンスの発声を身に付ける			
			2	アナウンス	順番を理解して伝える			
4	自己PR	アナウンス原稿を自分で作成し、読む	1	自己分析	自分の核を知る			
			2	スピーチ	エピソードを交え核をわかりやすく伝える			
5	身近な商品を紹介する①		1	売りを見つける	商品の売りを見つける			
			2	スピーチ	良い所を強調し伝える			
6	身近な商品を紹介する②		1	売りを見つける	商品の売りを見つける			
			2	スピーチ	良い所を強調し伝える			
7	童話を読む①	朗読を学ぶ	1	朗読	間・強調・スピード・音程を巧みに使う			
8	童話を読む②		1	朗読	間・強調・スピード・音程を巧みに使う			
9	10分番組制作	原稿を作り、伝え方を身に付ける	1	原稿作り	前期・後期で学んだ事を総合的に活かす			
			2	伝える	前期・後期で学んだ事を総合的に活かす			
10	10分番組発表	適格に伝わるか発表を通して確認する。	1	発表	考えた番組を発表し、客観的に伝わるのか確認する。			
	</							